

令和5年度

北塩原村の教育に関する事務
の管理 及び 執行状況の点検
・ 評価報告書

北塩原村教育委員会

令和5年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」の実施方針

1 趣 旨

北塩原村教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十六条の規定に基づき、主要な施策や事業の取り組みについて点検及び評価を行い、課題や取り組みの方向性を明らかにすることによって、効果的な教育行政の推進を図る。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出すると共に、公表を行うことで、村民への説明責任を果たし村民に信頼される教育行政を推進する。

2 実施方法

(1) 点検及び評価の対象は、「令和5年度北塩原村教育委員会の重点施策」並びに「教育委員会の活動状況」とする。コロナウイルス感染症対応により実施できなかった事業についても対象とする。

(2) 点検及び評価は、当該年度の施策・事業の状況を総括すると共に、課題や今後の取り組みの方向性を示すものとし、年1回実施する。

(3) 施策・事業の実施状況をとりまとめ、事務局員の自己評価、教育委員会評価を実施し、学識経験者（北塩原村教育事務評価検証委員）の意見を聴取した上で、最終的な点検及び評価とする。

(4) 最終的な点検及び評価の結果をとりまとめた報告書を北塩原村議会に提出。また、報告書は北塩原村HPで公表する。

(5) 総合評価の基準

S：目標を上回って達成した（100%以上） A：目標をおおむね達成した（100～80%）

B：目標を少し下回った（80～60%） C：目標を下回った（60%未満）

《評価計画》

時 期	内 容	備 考
R6年2月 ～ 4月	事務局員による点検及び評価	教育委員会事務局
6月	評価内容について事務局の説明 教育委員会での評価	定例教育委員会
7月～8月	教育事務評価検証委員による評価 評価のまとめ	教育事務評価検証委員 事務局
9月	評価結果を議会へ報告	

《 教育委員会の活動状況 》

(1) 会議及び研修

- 4月 県町村教育長協議会総会（福島市）
- 4月 市町村教育委員会教育長会議（福島市）
- 4月 域内市町村教育委員会教育長会議（会津若松市）
- 4月 全会津市町村教育長連絡協議会定例会（喜多方市）
- 5月 市町村教育委員会連絡協議会定期総会（福島市） 欠席
- 5月 全国町村教育長会総会・研究大会（東京都） 欠席
- 5月 市町村教育委員会連絡協議会耶麻支会総会（北塩原村）
- 6月 会津採択地区協議会（会津若松市）
- 7月 東北六縣市町村教育委員連合会教育委員・教育長研修会（秋田県） 欠席
- 7月 市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会（三島町）
- 7月 会津採択地区協議会（会津若松市）
- 10月 市町村教育委員会連絡協議会耶麻支会研修会（喜多方市）
- 10月 域内市町村教育委員会教育長会議（会津若松市）
- 11月 県町村教育長協議会研修大会（須賀川市）
- 3月 域内市町村教育委員会教育長会議（喜多方市）
- 3月 域内市町村教育委員会教育長会議（会津若松市）

(2) 教育委員会の活動状況

定例会開催：毎月最終の木曜日（基本）

期 日	主 な 内 容	場 所
4月27日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育事務評価検証委員会委員の委嘱について ○ 学校教育指導委員の委嘱について ○ 教育支援委員会委員の委嘱について（欠員補充） ○ 社会教育委員の委嘱について（欠員補充） ○ 学校給食調理場運営委員の委嘱について（欠員補充） ○ 準要保護児童生徒の認定について 	生涯学習 センター
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 幼・小・中の入園・入学式出席 ◎ 教職員対面式出席 	
5月22日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会教育委員の委嘱について（欠員補充） ○ 東北六縣市町村教育委員会教育委員・教育長研修会について 	生涯学習 センター
6月29日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 準要保護児童生徒の認定について ○ 令和5年第6回村議会定例会報告について ○ 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について ○ 沖縄県東村との交流事業「ちびっこ探検学校」について 	生涯学習 センター
	◎ さくら・裏磐梯運動会出席	

期 日	主 な 内 容	場 所
7月20日 (木)	○ 令和6年度使用教科書図書について ◎ 「ちびっこ探検学校」沖縄交流結団式 ◎ 子どもの主張大会出席	生涯学習 センター
8月31日 (木)	○ 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について ○ 全国学力学習状況調査について ○ 令和5年度「沖縄県東村交流の翼」について ○ きたしおぼら交流フェスタ 2023 について ○ ふくしま駅伝について ○ 部活動における熱中症対策について ◎ 二十歳を祝う会出席	生涯学習 センター
9月28日 (木)	○ 令和5年第8回村議会定例会報告について ○ 令和5年度総合教育会議について	裏磐梯 小学校
10月25日 (木)	○ 令和6年度村PTA連絡協議会要望について ○ 令和5年度各地区文化祭について ○ 第35回市町村対抗福島県縦断駅伝大会について	生涯学習 センター
11月30日 (木)	降雪被害により定例会中止 ◎ さくらふれあい文化祭・裏磐梯文化祭 ◎ ふくしま駅伝結団式・報告会出席	
12月21日 (木)	○ 令和5年第10回村議会定例会報告について ○ 令和6年度教育委員会重点施策について	生涯学習 センター
1月25日 (木)	○ 令和5年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」について ○ 令和5年度「沖縄県東村交流の翼」来村について	生涯学習 センター
2月22日 (木)	○ 令和5年度教育委員会顕彰表彰について ○ 令和6年度教育委員会重点施策について ○ 令和6年度当初予算概要（一般会計） ○ 村立幼稚園・小中学校卒業（園）式について	生涯学習 センター
3月4日 (月)	(臨時会) ○ 村立小中学校長及び教頭の任免について ○ 準要保護児童生徒（入学準備金）の認定について	生涯学習 センター

期 日	主 な 内 容	場 所
3月21日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年第3回北塩原村議会定例会報告について ○ 令和6年度教育委員会重点施策について ○ 北塩原村立幼稚園長の任命について ○ 北塩原村スポーツ推進委員の任命について ○ 北塩原村教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 ○ 北塩原村教育行政に関する相談に関する事務を行う職員を指定する規則の一部を改正する規則 ○ 北塩原村公民館組織規則の一部を改正する規則 ○ 北塩原村教育委員会事務局処理規程の一部を改正する訓令 ○ 北塩原村就学援助要綱の一部を改正する訓令 ○ 令和5年度高校入試の結果について ○ 村立幼稚園・小中学校入学（園）式について ○ 令和6年度教育委員会開催予定について ○ 令和6年4月1日付け村職員人事異動内示につて <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 幼・小・中の卒園・卒業式出席 ◎ 転出教職員離任式出席 	生涯学習 センター

令和5年度教育事務の点検・評価

《政策1》 生涯学習の推進

【重点目標】 生涯学習を通じた協働の村づくりを推進する

（施策1） 村民の学習を支援するため、学習機会を提供する

【点検及び評価の結果】

（1）令和5年度の取り組み状況

- 村民の生涯学習を支援するため、生涯学習推進計画に沿って、学習ニーズやライフステージに応じた講座等を開設し、生涯学習への取り組みを促す。
- 村民・地域活動団体等との連携を強化し、協働による質の高い学習機会を提供する
- 生涯学習施設の適切な管理運営を行い、村民の生涯学習への参加意識を向上させる環境づくりに努める。

（2）今年度の主な事務事業

- ・教育講座（幼児・家庭・子ども体験）の開設等
- ・生涯学習センター管理事業
- ・きたしおばら交流フェスタ
- ・図書環境の整備及び拡充

達成状況

項目	目標	実績
主な教育講座等の開催回数（幼児・家庭・体験）	13回	13回
生涯学習センターの利用人数	延べ1,000人	延べ1,134人
図書コーナー利用人数	延べ150人	延べ270人
図書の貸出数	450冊	773冊

(3) 課題・問題点

- 教育講座の開催回数は計画通り実施された。今後はニーズに沿った内容とテーマを精査し、より多くの方に参加してもらうよう検討を行う。
- 図書室・図書コーナーの更なる充実を図り、新規利用者の確保に努めたい。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 家庭教育講座については、保護者の参加しやすい参観日に実施した。保護者が抱える課題などを精査し、内容の検討を図りたい。○ 図書利用については、継続した周知を図り、新刊を含めた図書整備を充実し、新規利用者の確保にもいたった。 今後は、教育講座の開催や各幼小中学校・団体の活動と連携させた活用を図りたい。
---	--

(施策2) 生涯学習ボランティア等の活動を支援する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和5年度の取り組み状況

- 学校支援地域本部事業『学校の応援団』を継続し、無理のない範囲で地域住民が活躍する場の提供や、生きがいに貢献する

(2) 今年度の主な事務事業

- ・ 学校支援地域本部事業
- ・ 生涯学習人材派遣事業

達成状況

項目	目標	実績
生涯学習人材派遣事業の申請件数	2件以上	2件
「学校の応援団」の申請数	30件以上	59件

(3) 課題・問題点

- 生涯学習人材派遣事業については、広報やホームページを活用のうえ、活動支援が必要。
- 「学校の応援団」の支援ボランティア員や生涯学習指導者への登録者の高齢化が進み、減少傾向にあることから新規人材の発掘が必要。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 生涯学習人材派遣事業の申請については、団体の活動支援に繋がっており、生涯学習指導者、団体支援につながる周知を図りたい。○ 「学校の応援団」の申請については、新規の依頼もあるなど、地域と学校の連携が図れている実績となっているが、支援する新規の支援員の確保が必要。
---	---

(施策3) 生涯学習情報の提供を充実する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和5年度の取り組み状況

- 各課及び関係団体等と連携し、生涯学習カレンダーを充実する
- 村広報紙やホームページを活用した生涯学習情報提供を充実する

(2) 今年度の主な事務事業

- ・生涯学習カレンダーの制作
- ・社会教育情報の発信

達成状況

項目	目標	実績
村広報紙による社会教育情報発信数	12回	12回
生涯学習カレンダー発行	1回	1回
住民団体紹介数	2団体以上	10団体

(3) 課題・問題点

- 生涯学習主導者一覧の指導者の高齢化が進み、人材不足が懸念されていることから、新規指導者の確保に努める必要がある。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 広報紙への掲載、生涯学習カレンダーの発行について、予定通り実施された。SNSなどでの発信との併用化を進めていく。○ 住民団体紹介数について、作品などの記事と絡めて情報の掲載を図ることができた。
---	---

《政策2》 学校教育の充実

【重点目標1】 幼・小・中の一貫した教育を目指す連携を推進する

【重点目標2】 知・徳・体のバランスの取れた子どもを育てる

(施策1) 地域全体で幼・小・中の一貫した教育をめざした連携を強化し、知・徳・体のバランスの取れた子どもを育てる

【点検及び評価の結果】

(1) 令和5年度の取り組み状況

- 校長会・副園長教頭会・学校教育指導委員会を推進の核として幼・小・中の連携を図り、各校共通課題を設定し、課題解決に向けた対策を実践する
(中学校区単位において幼小中連携推進協議会を開催)
(幼稚園と小学校連携：交流、授業参観、合同マラソン記録会等)
(幼稚園と中学校連携：交流、職場体験等)
(小学校と中学校連携：授業・部活動見学、中学校教諭による外国語活動・陸上練習支援等)
- 郷土理解学習、異文化体験等を推進することにより、村の良さを再認識し、ふるさと理解（ふるさと愛）を育てる

(2) 今年度の主な事務事業

- ・村指定公開授業研究会
- ・「北塩原村学びのスタンダード」共通実践
- ・幼小中連絡推進協議会

達成状況

項	目	目標	実績
全国学力・学習状況調査における全国と本村の比較値	小学6年生	100%	113.0%
	中学3年生	100%	91.9%

※全国平均正答率を100とした際の本村の数値

項	目	目標	実績
平日の家庭学習時間	小学6年生	80.0%	84.2%
	中学3年生	40.0%	20.8%

※小学校6年生は1時間以上学習する児童の割合

※中学校3年生は2時間以上学習する生徒の割合

(3) 課題・問題点

- 校長会・副園長教頭会・学校教育指導委員会などを通して各校の課題を共有し、引き続き幼小中の連携を図りながら課題解決に取り組んでいくことが必要である。
- 中学3年生の平日の家庭学習時間は前年度から上昇したものの以前少ないため、学校と連携して指導・改善を図っていく必要がある。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、学校では感染症流行前に近い環境で学校活動を行うことができた。○ 村指定公開授業研究会を開催し、教員の授業力向上を図ることができた。○ 令和5年度顕彰表彰については、令和6年度に開催する村制70周年記念式典において実施する。
---	---

(施策2) 特色ある学校づくりを推進する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和5年度の取り組み状況

- 確かな学力、豊かな心、たくましい体の育成を図るため、学校独自の取り組みを支援する
- タブレット端末が全児童・生徒に導入されたため、タブレット端末を積極的に活用し、ICT教育の充実に努め、学力向上につなげる
- 小学校の学習指導要領の改訂に伴う英語科及び外国語活動、プログラミング教育を支援する

(2) 今年度の主な事務事業

- ・ 総合学習等学校運営事業交付金
- ・ 森林環境学習事業
- ・ 学習チャレンジサポート事業
- ・ ICT教育推進事業
- ・ 複式学級学習支援事業
- ・ 外国語指導推進事業
- ・ 学校活動応援事業

達成状況

項	目	目標	実績
漢検、英検の合格者の割合	小学6年生	50.0%	85.7%
	中学3年生	50.0%	40.0%

※小学校6年生は漢検6級以上の級保有者の割合

※中学校3年生は英検3級以上の級保有者の割合

※特別支援学級を含む

(3) 課題・問題点

- 森林環境学習においては、児童生徒数の減少に伴い実施内容の再検討が必要となる学校もあったため、各学校の要望を踏まえ、実施事業に対する予算確保ができるよう調整していく必要がある。
- 各学校へのICT周辺機器整備については、今後も各学校と協議のうえ、進めていく。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 各学校において実施する事業に対する支援・交付金については適切に執行することができた。○ 今年度は学習チャレンジサポート事業を活用して対象の児童生徒すべてが受検し、級保有者割合も前年度に比べ約2倍となった。引き続き高みを目指し学習指導を行っていく。
---	--

（施策3） 特別支援教育を充実する

【点検及び評価の結果】

（1）令和5年度の取り組み状況

- 発達検査を有効に活用するとともに、関係機関との連携強化、支援体制の充実に努める

（2）今年度の主な事務事業

- ・特別支援児支援体制整備事業

達成状況

項 目	目標	実績
支援員配置を必要としている学校へ支援員を配置している割合	100%	100%

（3）課題・問題点

- 児童生徒に対する支援も多種多様となっているため、どの支援員も同じような対応が出来る様に研修機会の実施が必要である。
- WISC-IVなど高度な専門検査が要求され、有資格者でないとできない検査項目も出てきている。
- 次年度は幼稚園に支援を要する幼児が入園予定であり、支援員の配置が必要となる。

（4）評価

A	○ 事務局、幼稚園及び小中学校の連携強化により、支援を要する園児児童生徒の情報共有を図り、就学への切れ目のない支援を行うことができた。
---	---

(施策4) 教員の教師力を高める

【点検及び評価の結果】

(1) 令和5年度の取り組み状況

- 幼・小・中連携による授業研究会の充実を図るとともに、各種研修会への参加機会を積極的に支援し、教員の教師力・授業力・地域理解力を高める
- GIGAスクール構想による全小中学校の児童生徒へのタブレット端末導入により、教職員もタブレット端末利用やICT教育向上のための研修会を実施し、教職員のICT教育関連知識等の向上に努める。

(2) 今年度の主な事務事業

- ・ 転入教職員村内研修
- ・ 学校教育指導委員先進地研修
- ・ 教育講演会
- ・ タブレット端末の効果的活用におけるICT教育研修

達成状況

項目		目標	実績
村内研修への参加教職員の割合		90.0%	73.0%
教育講演会への参加教職員の割合		90.0%	71.4%
学校に行くのが楽しいと思う子の割合	小学6年生	90.0%	84.2%
	中学3年生	90.0%	87.5%

(3) 課題・問題点

- 村の教職員であることに誇りを持っていただけるよう、転入教職員村内研修の内容の充実を図る。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 学校教育指導委員による先進地研修も、県内を中心に積極的に行い、教師力・授業力の向上に寄与することができた。○ 教育講演会では障がいによる特性や適切な指示の仕方についての講演をいただき、村内の教職員が多様な子どもたちの理解について学ぶことができた。
---	--

【政策3】 青少年の健全育成の推進

【重点目標1】 心豊かで規範意識のある青少年の育成を推進する

【重点目標2】 若者の育成支援

(施策1) 「笑顔いきいきみんなで子育て宣言」を推進する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和5年度の取り組み状況

- 学校・家庭・地域と連携し、「ノーメディア（メディアコントロール）」を推進する
- 学校・家庭・地域と連携し、「あいさつ運動」を推進する

(2) 今年度の主な事務事業

- ・ 青少年健全育成会議開催 ⇒ 令和5年5月14日（金） 25名出席
北塩原村コミュニティセンターホール
- ・ 子どもの主張大会開催 ⇒ 令和5年7月14日（金） 約150名参加
北塩原村立裏磐梯小学校

達成状況

項目	目標	実績
子どもの主張大会発表者数	8人	8人

(3) 課題・問題点

- 例年、7月開催となっており、熱中症対策を行ったうえでの実施となっているが、県少年の主張大会（8月下旬）の選考および各種行事を考慮した日程調整（変更）を検討する必要がある。
- 各学校の実情により、各校2名の選出が困難な状況も踏まえ、選出方法等について柔軟に対応する必要がある。

(4) 評価

A	○ 子どもの主張大会の実施と、非行防止等啓発のチラシを配布を行い、事業の推進と周知を図ることができた。
---	---

（施策2） 家庭の教育力の向上を図る

【点検及び評価の結果】

（1）令和5年度の取り組み状況

- 各家庭が子どもの健全な成長・発達を促す家庭教育を行えるよう、学習機会や子育て支援事業を充実する

（2）今年度の主な事務事業

- ・ 幼児教育支援事業 ⇒ 3回（芸術鑑賞教室：さくら・裏磐梯幼稚園）
（運動教室：芙蓉保育園）
- ・ ブックスタート事業 ⇒ 4回（保健センター）
※2回は対象者なし
- ・ 家庭教育支援事業 ⇒ 6回（子育て講座：さくら・裏磐梯幼稚園）
（子育て講座：さくら・裏磐梯小学校）
（思春期保健講座：第一中学校）
（保健講座：裏磐梯中学校）

達成状況

項 目	目標	実績
講座等開催回数	15回	13回

（3）課題・問題点

- 各幼稚園や学校での講座に求めるニーズの把握、保護者への家庭教育への関心を高める働きかけを行う必要がある。

（4）評価

A	○ 乳幼児、青少年期に向けた講座への参加率が高いことから、更なる生涯学習推進の働きかけを行いたい。
---	---

（施策3） 明るい地域社会の環境づくりを推進する

【点検及び評価の結果】

（1）令和5年度の取り組み状況

- 家庭・学校・地域社会が協力・連携する関係を築き、心豊かで規範意識を持つ青少年の育成に努める
- 地域行事への積極的な参加を進め、地域を知ることによりふるさとに誇りを持てるように努める

（2）今年度の主な事務事業

- ・ 地域行事への積極的な参加奨励
- ・ 青少年健全育成標語募集

達成状況

項 目	目 標	実 績
健全育成標語へ参加児童生徒の割合	65%以上	39%

（3）課題・問題点

- 地域学校協働本部事業（学校の応援団）と連動させながら、地域と学校がより近い環境をつくれるよう、地道な事業の継続と周知活動を行う必要がある。
- 中学校での参加者数が少ないことから、興味関心を高める参加の推進を行う必要がある。

（4）評価

B	○ 青少年健全育成標語を通して、子どもたちの考えを表現することができたことから、社会情勢に沿った内容の検討と、多くの児童・生徒からの応募につながるよう周知を進めていきたい。
---	--

(施策4) 若者による地域づくりを支援する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和5年度の取り組み状況

- 若者や女性（以下「若者等」という）を核としたコミュニティの形成や、村づくりに主体的に参画する若者等の発掘・育成を図り、若者等が活躍できる村づくりを支援する
- 村づくりへの興味関心を促し、共に学びながら若者等が活躍できる環境づくりに努める

(2) 今年度の主な事務事業

- ・青年交流促進事業

達成状況

項 目	目標	実績
他地区との青年交流事業開催応援	1回	0回

(3) 課題・問題点

- 南陽市で10月に開催している「きくらら祭」への参加については、令和元年度以降、事業の交流がない状態となっていることから、青年団体を中心とした活動機運を高める働きかけと、公民館事業と連動させながら、継続した関係性の構築が必要である。
- 他自治体の交流を視野に入れた、村内の団体育成が課題である。

(4) 評価

B	<ul style="list-style-type: none">○ 南陽市や近隣市町村の青年団体との交流事業の実施は、社会情勢の変化に伴い、困難な状況にある。 令和6年度以降も実施可能な団体の活動支援と、村内の青年団体が自主的に活動を行える仕組みの検討を進めたい。
---	--

《政策4》 「ひとり文化」運動の推進

【重点目標1】 芸術・文化の振興を図る

【重点目標2】 歴史資源の保存・継承を進める

(施策1) 芸術・文化活動の活性化を図り、振興事業を展開する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和5年度の取り組み状況

- 自主活動グループの育成・支援を行う
- 地区文化祭において芸術・文化に触れる機会や展示・発表の場を提供するとともに、地域間・世代間の交流を促進する

(2) 今年度の主な事務事業

- ・地区文化祭や、交流フェスタ事業
- ・いきいき健康フェスタ（村社会福祉協議会主催）事業活用

達成状況

項目	目標	実績
地区文化祭への地域からの出展及び出演団体数	5団体以上	7団体
文化団体連絡協議会への加盟団体数	10団体以上	15団体

(3) 課題・問題点

- 文化団体の高齢化が進み、各活動が鈍化しており、団体、会員募集、育成の支援が必要。

(4) 評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 小中学校文化祭での作品展示を行い、団体活動の継続と育成を目指した。 今後も可能な限り団体活動育成と活動支援などを行う必要がある。
---	--

〔施策2〕 歴史・文化資源の保存・継承を進める

【点検及び評価の結果】

（1）令和5年度の取り組み状況

- 村内の城館跡等に代表される史跡の発掘・保存・整備・適切な活用を進める
- 国史跡指定柏木城跡の文化保存活用計画の策定準備を進める
- 地域の伝統文化・郷土芸能、文化遺産の保存に努める

（2）今年度の主な事務事業

- ・文化財保存利活用事業
- ・文化財整備事業

達成状況

項 目	目 標	実 績
文化講演会の回数	1回	5回

（3）課題・問題点

- 令和4年3月15日に国指定史跡となった柏木城跡の継続した外部発信と合わせ、今後は保存・整備・活用に関する計画策定を行う、柏木城跡を軸とした事業の実施と、村内の文化資源の整備、保存、利活用にも計画的に取り組む必要がある。

（4）評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ 歴史ウォーク開催時の講演会、歴史を題材とした勉強会等を実施することができた。○ 関係団体と連携した活動や村文化資源の外部発信を図ることができた。
---	---

(施策3) 村民が、村の文化遺産・豊かな自然を再認識する機会を充実する

【点検及び評価の結果】

(1) 令和5年度の取り組み状況

- 村の文化遺産や自然の豊かさを学ぶ機会を通して、村への愛着心や誇りの気持ちを育てる
- 村の魅力(歴史・文化・自然)に触れるイベントを行い、村内外における交流を促進する

(2) 今年度の主な事務事業

- ・ 会津米沢街道歴史ウォーク ⇒ 令和5年6月17日(土)
- ・ 成人セミナー ⇒ 4回(歴史講座3回:生涯学習センター)
(桑折西山城:現地)
- ・ 子ども体験活動事業 ⇒ 4回(キャンプ体験:松原キャンプ場)
(おはなし会:さくら幼稚園)
(親子クッキング:保健センター)
(ボルダリング体験:もくもく自然

塾)

達成状況

項目	目標	実績
歴史ウォークへの参加者数 (計画定員に対する割合)	70%以上	80%
成人セミナーへの参加者数	20人以上	50人

(3) 課題・問題点

- 歴史ウォークの継続した事業実施により、会津米沢街道や国指定史跡の柏木城跡等の歴史的価値を活用した整備を図る必要がある。
また、公民館事業でもこうした資源を活用し、効果的な事業実施と促進により地域活性化を図ることが重要となる。

(4) 評価

A	○ 令和5年度では、歴史ウォークを軸とし、歴史講座の開催など、更なる内容の充実を図ることができた。今後も村の文化資源を広く関心を持たせ、地域の活性化が図れるような検討を行いたい。
---	---

《政策5》 「ひとりスポーツ」運動の推進

【重点目標】 「心身ともに健康な暮らし」をめざし、スポーツ・レクリエーションの振興を図る

（施策1） スポーツ交流の促進を図る

【点検及び評価の結果】

（1） 令和5年度の取り組み状況

- スポーツ・レクリエーションを通じた村民相互、また、交流自治体等との交流を促進する

（2） 今年度の主な事務事業

- ・ スポーツ団体等補助金（スポーツ大会等出場激励金）
- ・ スポーツ少年団本部事業
- ・ スポーツ交流派遣事業（家庭婦人バレー、市町村対抗軟式野球・ソフト）
- ・ スポーツ大会各種（村長杯グラウンドゴルフ大会、ビーチボールバレー交流会）

達成状況

項目	目標	実績
スポーツ大会各種への参加者数	100人	150人
体育協会への加盟団体数	20団体以上	18団体

（3） 課題・問題点

- スポーツ少年団、体育協会など少子高齢化の影響が大きく、登録団体が活動を止め解散している。生涯学習推進の「ひとりスポーツ」の機運を構築するため、関係各課、団体と連携し事業推進を図る必要がある。

（4） 評価

A	○ スポーツによる交流人口の拡大、健康づくりを推進するため、地域の実情に沿った社会体育事業の見直しや効果的な事業実施への検討を進めたい。
---	--

（施策 2） 村民の健康維持・体力向上を図る

【点検及び評価の結果】

（1）令和5年度の取り組み状況

- 健康づくりの基礎となる『動く』『歩く』『走る』活動を推進し、村民の健康保持増進・体力向上に努める
- ふくしま駅伝に継続的に参加することで、村民の『走る（歩く）』ことに対する機運を高めるため、現登録選手の継続育成及び新規候補者の発掘・育成・強化に努める
- 体育施設の適切な管理運営を行い、村民の健康・スポーツ活動への参加意識を高める環境づくりに努める

（2）今年度の主な事務事業

- ・福島県縦断駅伝競走大会参加事業
- ・体育施設管理事業

達成状況

項目	目標	実績
ふくしま駅伝登録者数	20名以上	21名
体育施設利用人数	延べ5,000人	延べ4,178人

（3）課題・問題点

- ふくしま駅伝事業など生涯学習推進計画にある「村民ひとりスポーツ運動」の推進を図る必要がある。
- 体育施設の利用については、近年の気候変動により、熱中症対策が必要な期間が長くなっていることから、健康管理の啓発と利用制限について検討が必要。

（4）評価

A	<ul style="list-style-type: none">○ ふくしま駅伝については、登録選手確保が困難な状況にあるが、継続した事業の実施に向け、関係者と連携して事業推進を図る。○ 体育施設については、老朽化が進んでいることや熱中症対策を含め、より効率的で安心して使用できるよう検討を進める。
---	--

《令和6年度教育事務評価検証委員の総括的意見》

(1) 生涯学習の推進

○評価はこのままで良い。

(2) 学校教育の推進

○学校教育を推進していくうえで、教師力を高めることは非常に大切であると考え。働き方改革が叫ばれている中でも職員研修の時間も大切にしてもらいたい。

○評価はこのままで良い。

(3) 青少年の健全育成の推進

○道路のゴミを拾う子どもの姿を見たことがある。これからも心豊かで規範意識を持つ青少年の育成に努めてもらいたい。

○評価はこのままで良い。

(4) 「ひとり一文化」運動の推進

○村内にある文化財等をもっと児童生徒に見せて、村の歴史を理解してもらいたい。

○評価はこのままで良い。

(5) 「ひとりスポーツ」運動の推進

○子どもの数が少ないため、スポーツ少年団に加入する子どもが少なくなっている。若者が定住しやすい村づくりが必要ではないか。

○評価はこのままで良い。